



同調圧力の正体と それへの対応策を考える

スピーカー

櫻田 弘文

(株式会社クエストリー・代表取締役)



今月のレポートのテーマは「同調圧力」です。変化のスピードが急速な時代において、同調圧力は中小企業にとってとくに重要な課題となります。今回のサロンではこの同調圧力について考えたいと思います。

ブランディングクラブ
オンラインサロン

7月24日(木)
17:30～18:30

- ◆Zoomによるオンライン開催
(17:15にZoomを立ち上げます)
- ◆事前に参加の可否をご連絡ください

同調圧力が中小企業の経営に与えるマイナスの影響は次の4つに整理できます。仕事の現場における同調圧力の事例やそれに対する対策等をフリートークで話し合いましょう。

■イノベーションの阻害

スタッフが新しいアイデアや異なる意見を提案することをためらう傾向があります。これにより、企業は変化に対応するための革新的な解決策を見つけることが難しくなり、競争力を失う可能性があります。

■個人の創造性や自主性の抑制

スタッフは自分の意見を抑え、集団の意見に従うことを優先します。この結果、個人の能力が十分に発揮されず、企業全体のパフォーマンスが低下する恐れがあります。

■ストレスの増加と離職率の上昇

同調圧力による心理的負担は、ストレスを増加させ、モチベーションを低下させる要因となります。これが長期化すると、離職率の上昇や生産性の低下につながる可能性があります。

■組織の劣化

同調圧力が強い組織では、異なる意見や個性が排除される傾向があり、これが組織の柔軟性や適応力を低下させ、結果的に劣化を招くことがあります。とくに変化のスピードが速い今は、これが顕著になります。

これらの同調圧力のマイナス面を認識し、それを軽減するための具体的な対策が必要です。同時に、適度な同調圧力を活用してチームワークを強化し、変化に柔軟に対応できる組織を構築することも大事なポイントになります。

次回
予告

8/21日(木) 17:30～18:30
スピーカー・テーマは未定です。
正式に決まり次第ご案内いたします。



プランディングで中小企業と地域のいまを輝かせます
株式会社 クエストリー
TEL:03-5148-2508
<https://www.questory.co.jp>